



ツール・ド・熊野

6月2日（日）、今年で21回目を迎えるUCIロードレース「ツール・ド・熊野2019」が開催されました。

あいにくの天候の中での開催となりましたが、太地半島104.3kmを周回するレースは、最後まで目が離せない白熱したレース展開となりました。町内外から多くの方が訪れ、会場や沿道では大きな歓声が上がっていました。

ご協力ありがとうございました。

目次

トピックス	2
お知らせ	3
住民福祉課便り	6
くじらの博物館便り	8
保健衛生関係行事予定	10

5/15(水) **東** 京農業大学と包括連携協定締結

東京農業大学の世田谷キャンパスにおいて、包括連携協定の締結式が行われました。

この協定は、太地町、太地町漁業協同組合、太地水産共同組合と東京農業大学との間で締結がなされ、今後、産業や地域づくり等の分野において相互に協力をしていくこととしています。



5/20(月) **生** 命の駅伝

がん研究の重要性を伝え、その研究を支援するための募金活動を目的に、EKIDEN for LIFE の会主催の下行われている「生命の駅伝」が、今年で25回目の開催を迎えました。本町にもチャリティランナーが訪れ、副町長より募金箱が手渡されました。

この日、串本町をスタートしたランナーは、道の駅から役場前、博物館前を通り町内を一周した後、新宮市まで駆け抜けました。

5/28(火) **感** 謝状贈呈

長年、選挙管理委員会の委員を務めていただきました下市昇一氏に、その功労をたたえ、町長より感謝状が贈呈されました。

同氏におかれましては、選挙の適正な執行や委員会運営にあたり、多大なご尽力を賜りました。

今後ともご指導のほど、よろしくお願いたします。



お知らせ

「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」参加者募集

日本遺族会では、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。

同事業は、厚生労働省から補助を受け実施しており、先の大戦で父等を亡くされた戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を実施するとともに、同地域の住民と友好親善をはかることを目的としています。

費用は、参加費として10万円。

平成30年度参加者以外は、複数回の応募ができます。

付添希望者は要相談。

なお、参加者の高齢化を考慮し看護師が同行いたします。

日程等の詳細は、日本遺族会事務局03-3261-5521まで。

お申込は、お住まいの各都道府県遺族会へ。

<実施地域>

(広域地域) ①旧満州 ②旧ソ連 ③西部ニューギニア ④ソロモン諸島 ⑤東部ニューギニア ⑥トラック・パラオ諸島 ⑦ボルネオ・マレー半島 ⑧フィリピン(1次) ⑨マリアナ諸島 ⑩ミャンマー ⑪台湾・バシー海峡 ⑫ビスマーク諸島 ⑬マーシャル・ギルバート諸島 ⑭フィリピン(2次) ⑮中国
(特定地域) ①西部ニューギニア ②東部ニューギニア ③ミャンマー

お知らせ

放送大学 入学生募集のお知らせ

○放送大学は、10月入学生を募集しています。

○心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

○全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生交流も行われています。

○資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学和歌山学習センター(☎073-431-0360)までご請求ください。

○出願期間は、第1回は8月31日まで、第2回は9月20日まで。

お知らせ

令和元年度和歌山県下水道排水設備工事責任技術者資格認定共通試験

1 主催：和歌山県下水道協会 2 試験日：令和元年11月17日(日)

3 試験会場：和歌山商工会議所(和歌山市西汀丁36)(11月4日(月・休日)) 同会場にて希望者に受験講習を実施)

4 申込書配布期間：8月13日(火)から9月6日(金)まで

5 申込書受付期間：8月26日(月)から9月6日(金)まで

6 申込書配布・受付・問い合わせ先：太地町役場 産業建設課 TEL：59-2335 又は和歌山県下水道協会 TEL：(073) 435 - 1093

お知らせ

和歌山県立田辺産業技術専門学院の体験入学者募集

安心な授業料(年12万円弱)で、少人数指導と実践的訓練を通じ、専門知識・技術を習得でき、多彩な資格が取得できる公共職業能力開発校の体験入学を募集しています。

【日時】7月17日(水)・18日(木)・19日(金)・26日(金) 13:30～15:30

※7月は在学生の授業風景が見学できます。

9月7日(土) 9:30～12:00

【場所】自動車工学科(2年制)、観光ビジネス科(1年制)：田辺産業技術専門学院
情報システム科(2年制)：田辺産業技術専門学院分教室(Big・U内)

【対象】中学・高校生及び保護者、並びに一般の方

【申込期限等】各開催日の2日前までに電話、インターネットで学院へ

【問い合わせ】田辺産業技術専門学院(田辺市新庄町1745-2 電話0739-22-2259) ※県ウェブサイトでも掲載



住民福祉課だより

2019年度「里親相談会」のご案内

子どものために里親家族をさがしています。

様々な理由から親と一緒に暮らせない子どもたちがいます。そんな子どもたちをあなたの温かい愛情の下、家族の一員として一緒に生活する事を考えてみませんか。

詳しい説明は紙面の関係で述べることはできませんが里親制度は、様々な種類や形で始めることができます。

あなたのできる範囲から始めていただいで結構です。

さらに詳しい話を一度聞いてみたい方は、平日でも休みの日でも、いつの時間でも結構です。お話を場所についてもあなたの希望を優先させていただきたいと思ひます。希望する方は、県下各地からでも結構です。ご連絡を頂き次第、あなたの都合のいい日と時間・場所の調整をさせていただきますので、一度ご連絡下さい。

また、下記の日程でも里親相談会を開催いたしますので、参加される方は必ず予約のご連絡をください。(申込み締切は各日程の1週間前です。)

里親相談会の開催

○串本会場

日時 7月17日(水)・21日(日) 午前10:00~12:00

場所 串本町文化センター2階C会議室

○新宮会場

【前半】 日時 7月26日(金)・28日(日) 午前10:00~12:00

場所 新宮市保健センター(オークワ近く)

【後半】 日時 11月20日(水)・24日(日) 午前10:00~12:00

場所 新宮市保健センター(オークワ近く)

連絡先

里親支援センター ほっと

和歌山県西牟婁郡上富田町岩田2456-1

社会福祉法人 和歌山県福祉事業団 本部 内

TEL 0739-34-2735

FAX 0739-47-6645

※調整のための連絡の時間帯は

8:30~17:30(平日のみで 土・日・祝日除く)

担当者 平野・玉置

専用携帯電話 080-8349-9632

新宮・東牟婁圏域 地域生活支援拠点事業

地域社会における共生の実現に向けて、障害者の高齢化、重度化や「親亡き後」を見据え障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう様々な支援を切れ目なく提供するため、地域の事業者が機能を分担して支援を行う体制等を整備・集約し、障害者等の生活を地域全体で支える体制の構築を図ることを目的とする。

事業イメージ



一人暮らし体験

- ・自立等を目的とした一人暮らしへの支援

地域の支援体制作り

- ・コーディネーター配置
(受託先事業者)

緊急時受け入れ

- ・緊急一時的な宿泊支援
- ・受け入れ施設等の調整

事業内容

● 緊急時受け入れ事業 (対象者：新宮・東牟婁圏域に居住する18歳以上の障害者)

地域で生活する障害者等の急な体調不良や介護者又は保護者の急病等による緊急保護が必要な時に、福祉サービス等が利用できない場合に、緊急一時的な受け入れのための居室の提供と宿泊に伴う支援を行う。

利用の流れ

介護者・支援員が事業窓口(24H365日対応)に連絡→チェックリストによる聞き取り→事業対象の場合、コーディネーターが場所(公共施設、福祉施設等)の確保、移動手段(事業所の車、タクシー等)、支援員(事業所職員、相談支援事業所、コーディネータ等)等の調整→最長3日間の受け入れ期間の中で、福祉サービス等に繋げていく。

費用の負担について

利用者負担ゼロ。施設利用料 実費相当額
移送費 実費相当額 移送時対応費用 通院等介助(身体介護を伴う)単価
付き添い費用 通院等介助(身体介護を伴う)単価
まとめて受託事業所が計算、請求→市町村支払い→受託事業所がまとめて受領→それぞれの事業所に支払う。

● 一人暮らし体験事業 (対象者：18歳以上の知的障害者、グループホーム利用者(今後、拡大予定))

地域への移行や親元からの自立等にあって、一人暮らし体験の場や宿泊体験に伴う居室の提供などの支援を行う。

利用の流れ

一人暮らし体験希望者の受付→本人、保護者、関係者と話し合いコーディネータが目標やスケジュール作成→一人暮らし体験→フィードバック→報告

費用の負担について

利用者負担：1泊2日 1800円(別途食費)
付き添い費用 通院等介助(身体介護伴わない)の単価
受託事業所が市町村へ請求→市町村から受託事業所が受領→受託事業所から支援員に支払い

● コーディネーター事業

地域生活を支援するためのサービス提供体制の総合調整を図るためのコーディネーターを配置し、調整や介護等必要な支援を行う

受託事業所

社会福祉法人美熊野福祉会
障害児者相談センターゆず
新宮市佐野3-12-26
☎0735-31-8370

社会福祉法人和歌山県福祉事業団
東牟婁圏域障害児者相談支援事業所とも
東牟婁郡串本町田原700
☎0735-74-0231

生きがいデイサービス

今年4月から太地町地域福祉センター「^{なぎ}柳」に開催場所を移転し、毎週火・木曜日に開催しています。皆さんと一緒に食事をしたり、リハビリ運動やレクリエーションをしたりしています。午後の休憩時間では、いろんなゲームやカラオケなどを楽しむなど、利用されている方同士で交流を深めています。

生きがいデイサービスの利用をご希望の方は、住民福祉課（☎59-2335）または、太地町社会福祉協議会（☎59-3380）までご連絡ください。

開催日：週2回（火・木）10:00～14:30（送迎あり）

利用料：1日500円（昼食代込み）

対象：介護保険の対象とならないおおむね60歳以上のひとり暮らしの方など。

ご家族と同居世帯であっても、日中はひとりで自宅にいることが多い場合などはご相談ください。

※介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方は、太地町地域包括支援センターまでご相談ください（☎59-2335）。



眺めの良いレストランで昼食をたべたり、ボールを使った体操をしたりしています。興味のある方は、見学もできますよ！



ポールウォーキング教室を開催しました！

5月15日、29日に太地町地域福祉センター榎（なぎ）にて、ポール（杖）を使用したウォーキング教室を開催しました。ポールを使用して歩くことで、背筋を伸ばすことができ、理想的な歩行姿勢に近づきます。実際には、アスファルトや坂道、芝生など状況の異なる道歩きが想定されます。ポールウォーキングでは足への負担が軽減され、膝痛などがある方へもオススメです。普段からウォーキングをされている方もそうでない方も、ポールを持つことで効率よく身体を動かし、いつまでも歩き続けられる身体づくりをしましょう！

ウォーキングポールは役場で無料貸出しをしていますので、希望される方は印鑑を持参の上、住民福祉課窓口までお越しください。

※本数に限りがありますので、一週間の貸与とさせていただきます。また、教室開催中は貸出しができませんので、予めご了承ください。

問い合わせ先：Tel 59-2335
地域包括支援センター（住民福祉課内）



なぎのコインランドリーについて

7月から「なぎ」にてコインランドリーが営業開始されます。75歳以上の方は、洗濯・乾燥の代行業「なぎ」の受付にてご依頼いただけます。町から75歳以上の方に交付されている「じゅんかんバス無料乗車券」を、「なぎ」の受付にて提示いただければ、受付にて洗濯物を預かり、洗濯・乾燥ののち、お帰りの際に洗濯物をお返しします。（※洗濯・乾燥は有料です。）

その他のなぎの利用について

「なぎ」のその他の施設利用につきましては、8月中にご利用ができるようになります。詳細が決まり次第、後日回覧や広報にてお知らせいたします。





探査船「ちきゅう」の「こんぴらさん」

Konpirasan Shrine of the Science Ship Chikyū

海底下深度7,000メートルを超える深さまで穴を掘って地球内部の地質試料を採取する能力を持った探査船「ちきゅう」が新宮港で公開された。操舵室に神棚があり、そのすぐ傍の、ガラス戸がついたケースの中に大きな木のお守り札が収められていた。「こんぴらさん」こと、香川県琴平町の金刀比羅宮のお札であった。

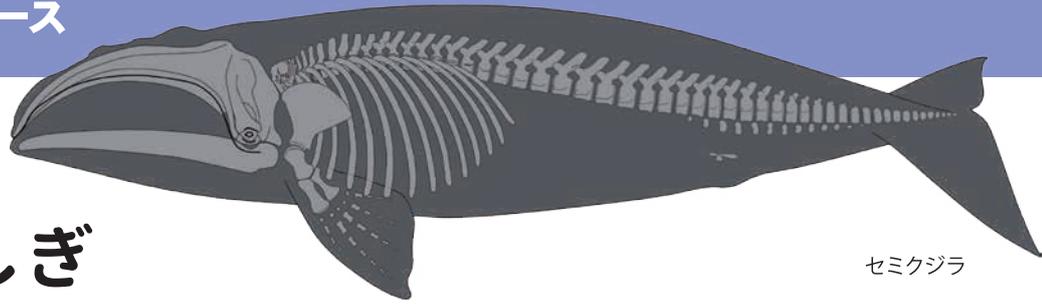
海に生きる人々が古くから崇敬してきた「こんぴらさん」は各地に勧請されている。太地燈明崎にも、「こんぴらさん」の分霊が太地角右衛門頼徳によって寛政10年(1798)に迎えられている。その石造りの手水鉢に「寛政七年奉寄進」と刻まれているので、その前から祀られていたという説も『太地町史』に収められている。

さて「ちきゅう」は、平成19年(2007)から熊野灘の沖合において研究活動を始め、巨大地震の震源となるプレート境界断層を目指して掘削を続け、これまでに重大な成果を挙げている。この先端技術の粋を集めた科学調査船に神棚があるのを認めたとき、私はやや意外な感じがした。だが人間が大自然を制御できないことを誰よりも理解しているのがこの船に乗る人々ではないかと考えて得心が行ったのであった。

おそらく船が完成する直前の頃だろう。私は宇野港と高松港を結ぶフェリーに乗ったときに「ちきゅう」を見たことがあり、その異形と珍名は私に強い印象を与えた。「ちきゅう」が岡山県玉野市の三井造船で建造されたことを知っていたので、「ちきゅう」の船橋に「こんぴらさん」のお札を見たとき、近場の有名な海神様であることから「こんぴらさん」が選ばれたのだろうと考えた。ところが調べてみると、「ちきゅう」を保有する国立海洋研究開発機構の他の研究船、すなわち「みらい」、「かいいい」、「新青丸」、「白鳳丸」、そして潜水調査船「しんかい6500」とその支援母船「よこすか」にも、やはり「こんぴらさん」のお守り札が祀られているという。

「ちきゅう」は、掘削が海底下深度3,200メートルを超える地点に達したところで今回のプロジェクトを3月末に終えた。科学掘削としては世界最深となる偉大な成果だが、当初はさらに深いところまで掘り進めるつもりであったという。「こんぴらさん」のおかげを頂いた最新の科学調査船は、太地の「こんぴらさん」が見守る海の沖合で、巨大地震と津波発生のメカニズム解明に挑み続ける。

写真：地球深部探査船「ちきゅう」。採掘パイプを吊り下げるデリック(やぐら)の頂上は船底から130mの高さにあるという。



セムクジラ

肩甲骨のふしぎ

博物館では、来館者をはじめ、様々な方から質問や問い合わせを受けることが少なくありません。

「セムクジラのおうでのつけねの骨にでっぱりがないのはなんでですか？」先日、博物館にこのような電話がかかってきました。電話の相手は小学生くらいの男の子です。話をよく聞くと、博物館来館時に1階に常設展示中のさわれる骨格模型をみて、他の鯨類にはあるのにセムクジラだけにはない特徴を発見したとのこと。その理由を聞くために電話をかけてきてくれたのでした。

彼のいう「うでのつけねの骨」というのは、私たちの肩の骨、「肩甲骨」のことです。私たちの肩甲骨は腕で体を支えるため胸の骨と鎖骨でつながり、背中の方に位置しています。しかし、四足歩行を随分昔にやめたクジラの仲間は、水中で体を支える必要がなくなったために、肩甲骨は体の側面に沿うような位置に移動し、胸の骨と連結していた鎖骨は退化してなくなっています(図1)。一般的なクジラの仲間の肩甲骨は、図2aのような扇形に近い形で、肩峰や烏口突起とよばれる突起がみられます。「鯨類学」(村山司編著,東海大学出版会)によると、こうした肩甲骨の形態は、始新世(約5,600万年前から約3,390万年前までの期間)のムカシクジラの段階で獲得されたもので、現在までに大きな変化がない部分なのだそうです。

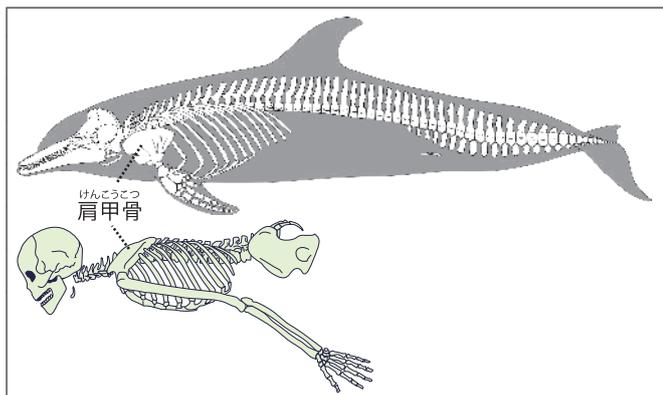


図1 バンドウイルカ(上)とヒト(下)のからだのつくり

話を元に戻しましょう。質問は「セムクジラのおうでのつけねの骨にでっぱりがないのはなぜか？」というものでした。実は約5,000万年前からほぼ変化がないといわれる肩甲骨ですが、種によって肩峰や烏口突起とよばれる「でっぱり」の発達程度に差がみられることが知られています。例えば、ザトウクジラの肩甲骨は肩峰や烏口突起が発達せず単純な扇形であり(図2b)、インドカマイルカでは肩峰が肩甲骨の前縁までに達する(図2c)などの違いがみられます。セムクジラの肩甲骨(図2d)も「でっぱり」がないのではなく、未発達なので確認しにくくなっているだけで痕跡はあります。では、「なぜ」セムクジラの肩甲骨には、肩峰や烏口突起が発達していないのでしょうか。専門家にお聞きすると、「理由はおそらく胸びれの動かし方にあり、外旋(胸びれの付け根を軸に体の外側へ回すような動かし方)に近い動きを可能にするためなのではないか」ということでした。

クジラに詳しい専門家でも明確な理由がわからない肩甲骨の「でっぱり」の謎に気づいた小学生の彼の観察眼に驚かされるとともに、私自身とても勉強させてもらった質問でした。今後も様々な鯨類の肩甲骨に着目し、その相関を調べていきたいと考えています。

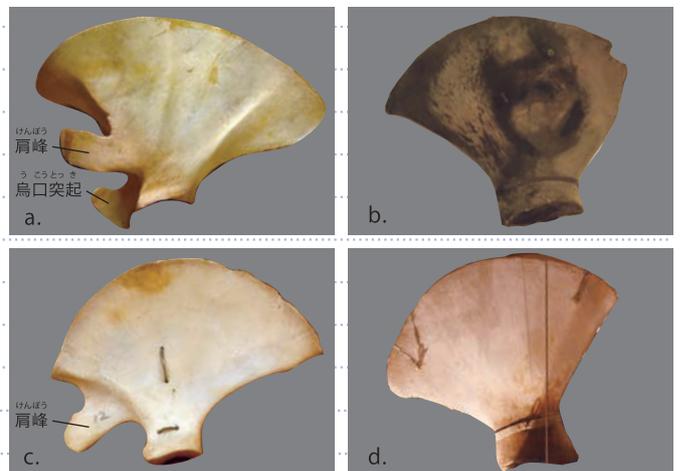


図2 肩甲骨の形態のちがい
(a.カマイルカ b.ザトウクジラ c.インドカマイルカ d.セムクジラ)
いずれも左側の肩甲骨を外側から撮影したもの

《保健衛生関係 8 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時 間	場 所
7月 3日 (水)	ちびっ子ひろば (プチ夏祭り)	10:00 ~ 11:30	ふれあいルーム
7月 17日 (水)	ちびっ子ひろば	10:00 ~ 11:30	ふれあいルーム

※7月3日(水)ちびっ子ひろば(プチ夏祭り)は、対象者に個別通知します。事前申し込みが必要となりますので、ご注意ください。

健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
7月 16日 (火)	乳幼児健康相談	10:00 ~ 11:30	ふれあいルーム
7月 17日 (水)	成人健康相談 (血圧測定)	10:30 ~ 11:30	公 民 館
		13:00 ~ 13:30	平見集会所
		13:45 ~ 14:15	老人憩の家
		14:30 ~ 15:00	寄水集会所
7月 29日 (月)	成人健康相談 (血圧測定)	15:00 ~ 15:30	森浦集会所

健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
7月 1日 (月)	なかよし体操	13:30 ~ 15:00	東新集会所
7月 22日 (月)			
7月 8日 (月)	なかよし体操	13:30 ~ 15:00	森浦集会所
7月 29日 (月)			

健診

月 日	事業名	時 間	場 所
7月 11日 (木)	1歳6か月、3歳6か月児健診	12:50 ~ 13:00 (受付)	多目的センター
7月 25日 (木)	4か月、10か月児健診	9:10 ~ 9:25 (受付)	那智勝浦町福祉健康センター



ドとともに、白馬大雪渓を目指して出発しました。当日麓では30度近くまで気温が上がリ、雪渓の上の冷気の気持ちの良い夏のような気候と、抜けるような青空が、最高の夏山シーズンの幕開けとなりました。

白馬からのお便り
姉妹都市「白馬村」コーナー

第53回貞逸祭・白馬連邦開山祭

今年で53回目を迎える「貞逸祭・白馬連邦開山祭」が5月25日(土曜日)に白馬岳の登山口猿倉で開催されました。

白馬アルプホルンの会の皆さんによるオーブニング演奏のあと、安全祈願の神事が執り行われ、およそ530名の方にご参加いただきました。式典のあと、ツアー

住民基本台帳
(令和元年5月末日現在)

総人口 3,092人

男 1,390人

女 1,702人

世帯数 1,599世帯

(前月比: 総人口 **4人増**
世帯数 **増減なし**)

くじらに出会える海水浴場開催のお知らせ

令和元年7月8日(月) ~ 8月19日(月)

クジラが海水浴場内を泳ぐのは、

11:00 ~ と 13:00 ~ の予定 (各15分間)

※海開きは令和元年7月1日(月) ~ 8月19日(月)

(問合せ先) 太地町産業建設課

電話: 0735-59-2335